

# 平成20年度 第2回東京都登録販売者試験 問題（午後）

指示があるまで開いてはいけません。

## 注意事項

- 1 試験問題の数は60問で、午後2時から午後4時までの120分以内で解答してください。
- 2 解答用紙は、問題とは別に配布します。  
解答用紙には、必ず氏名と受験番号を記入し、また、受験番号に該当する数字を塗りつぶしてください。  
試験終了後は、解答用紙のみ提出してください。
- 3 解答方法は次のとおりです。
  - (1) 解答用紙の該当箇所の数字をHBの鉛筆で塗りつぶしてください。  
設問に対する解答は、1設問に対して一つです。複数箇所を塗りつぶした場合は、解答したことにはなりません。

解答例





問 110 炭素の元素記号として、正しいものはどれか。

1 A      2 B      3 C      4 D


正しい答えは「3」であるから、**③** を塗りつぶして、

問 110	<b>①</b>	②	●	④
-------	----------	---	---	---

とすればよい。

マークの仕方    良い例    ●    悪い例                

細い    短い    うすい    はみでる

- (2) 解答を修正した場合は、消しゴムであとが残らないように完全に消してください。  
鉛筆のあとが残ったり、 のような消し方をした場合は、修正又は解答したことにはならないので注意してください。
  - (3) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないよう、注意してください。
- 4 (1) 試験は、厚生労働省が定める「試験問題の作成に関する手引き（平成19年8月）」から出題しています。  
**問 61から問100（1ページから20ページ）主な医薬品とその作用**  
**問101から問120（21ページから31ページ）医薬品の適正使用と安全対策**
    - (2) 設問中の薬事法の条文は、薬事法の一部を改正する法律（平成18年法律第69号）による改正後の条文に基づいています。
    - (3) 設問中の科学用語そのものやその外国語表示（化合物名、人名、学名など）には誤りはないものとして解答してください。ただし、設問が科学用語そのもの又は外国語の意味の正誤の判断を求めている場合を除きます。
- 5 問題の内容については、質問を受け付けません。

## 主な医薬品とその作用

問61 かぜ薬に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 小児のインフルエンザ（流行性感冒）には、サリチルアミドが配合された総合感冒薬を使用することが適切である。
- b 発熱や頭痛を伴った悪心・嘔吐、下痢等の消化器症状は、ウイルス性胃腸炎の症状の可能性があるため、総合感冒薬の使用は適切でない。
- c 漢方処方製剤のかぜ薬は、作用が緩和であり、副作用を起こすおそれはない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問62 かぜ薬に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 塩酸プロムヘキシンは、痰の切れを良くすることを目的として用いられる。
- b メキタジンは、くしゃみや鼻汁を抑えることを目的として用いられる。
- c グアヤコールスルホン酸カリウムは、咳を抑えることを目的として用いられる。
- d 塩酸クロペラスチンは、発熱を鎮め、痛みを和らげることを目的として用いられる。

1 ( a、 b )      2 ( a、 c )      3 ( b、 d )      4 ( c、 d )

問63 痛みや発熱が起こる仕組み及び解熱鎮痛薬に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 発熱は、細菌やウイルス等の感染等に対する生体防御機能の一つとして引き起こされる症状である。
- b 解熱鎮痛薬を頭痛に対し使用する際は、症状が現れないうちに予防的に使用することが適切である。
- c 腹痛を含む痙攣性<sup>けいれん</sup>の内臓痛は、月経痛と発生の仕組みが異なるため、一部の漢方処方製剤を除き、解熱鎮痛薬の効果は期待できない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問64 解熱鎮痛薬に用いられるピリン系解熱鎮痛成分はどれか。

- 1 アスピリン
- 2 イブプロフェン
- 3 サリチルアミド
- 4 イソプロピルアンチピリン

問65 次は、解熱鎮痛薬に関する記述である。  、  、  にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

エテンザミドは、痛みの  を抑える働きが中心である他の解熱鎮痛成分に比べ、痛みの  を抑える働きが優位であるとされており、これら他の解熱鎮痛成分と組み合わせて配合されることが多い。例えば、  、カフェイン、エテンザミドの組合せは「ACE処方」と呼ばれる。

	a	b	c
1	伝わり	発生	アルジオキサ
2	伝わり	発生	アセトアミノフェン
3	発生	伝わり	アルジオキサ
4	発生	伝わり	アセトアミノフェン

問66 主たる有効成分として塩酸ジフェンヒドラミンが配合されている睡眠改善薬に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 一時的な睡眠障害ではなく、慢性的に不眠症状がある人を対象とする。
- 2 妊娠中にしばしば生じる睡眠障害は、適用対象となる症状ではない。
- 3 ジフェンヒドラミンは乳汁に移行しないため、母乳を与える女性でも使用できる。
- 4 成長期にある小児の睡眠障害にも用いられる。

問67 主たる有効成分としてカフェインが配合されている眠気防止薬に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a かぜ薬やアレルギー用薬などを使用したことによる眠気を抑えるためにも用いられる。
- b 眠気による倦怠感<sup>けん</sup>を和らげる補助成分として、ビタミンB<sub>1</sub>が配合されている場合がある。
- c 胃酸過多の症状のある人、胃潰瘍<sup>かいよう</sup>の診断を受けた人は、服用を避ける必要がある。
- d 副作用として動悸<sup>き</sup>が現れることがある。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	誤	誤	正

問68 鎮暈薬<sup>うん</sup>に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 塩酸メクリジンは、脳に軽い興奮を起こさせて平衡感覚の混乱によるめまいを軽減させることを目的として用いられる。
- b 臭化水素酸スコポラミンは、中枢に作用して自律神経系の混乱を軽減させ、末梢<sup>しよう</sup>では消化管の緊張を低下させることを目的として用いられる。
- c ジメンヒドリナートは、胃粘膜への麻酔作用によって嘔吐刺激<sup>おう</sup>を和らげ、乗物酔いに伴う吐き気を抑えることを目的として用いられる。
- d 塩酸ジフェニドールは、副作用として、排尿困難、散瞳<sup>とう</sup>による異常なまぶしさが現れることがある。

1 ( a、 b )      2 ( a、 c )      3 ( b、 d )      4 ( c、 d )

問69 鎮咳去痰薬に用いられる麻薬性鎮咳成分はどれか。

- 1 塩酸ノスカピン
- 2 クエン酸チペピジン
- 3 リン酸ジヒドロコデイン
- 4 臭化水素酸デキストロメトルファン

問70 鎮咳去痰薬に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a カルボシステインは、気管支を拡張し、呼吸を楽にして咳や喘息の症状を鎮めることを目的として用いられる。
- b ジプロフィリンは、気道の炎症を和らげることを期待して用いられる。
- c グアイフェネシンは、気道粘膜からの分泌を促進し、痰の切れを良くすることを期待して用いられる。
- d バラ科のアンズの種子を用いた生薬は、キョウニンである。

- 1 ( a、 b )      2 ( a、 c )      3 ( b、 d )      4 ( c、 d )

問71 塩酸メチルエフェドリンに関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 自律神経系を介さずに気管支の平滑筋に直接作用して、気管支を拡張させる作用を示す。
- b 同様の作用を示す生薬成分として、マオウが知られている。
- c 心臓病、高血圧の診断を受けた人が使用すると、症状を悪化させるおそれがある。
- d 依存性がある成分であることに留意する必要がある。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	誤	誤	正

問72 口腔咽喉薬やうがい薬（含嗽薬）に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a メントールは、喉の粘膜を刺激から保護することを目的として用いられる。
- b ヨウ化カリウムは、咽頭の粘膜に付着したアレルギーによる喉の不快感等の症状を鎮めることを目的として用いられる。
- c 塩化セチルピリジニウムは、口腔内や喉に付着した細菌等の微生物を死滅させたり、その増殖を抑えることを目的として用いられる。
- d アズレンスルホン酸ナトリウム（水溶性アズレン）は、炎症を生じた粘膜組織の修復を促す作用を期待して用いられる。

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問73 胃の薬に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 健胃薬は、胃液の分泌亢進による胃酸過多や、それに伴う胸やけ、腹部の不快感、吐き気等の症状を緩和することを目的とする医薬品である。
- b 制酸成分を主体とする胃腸薬は、酸度の高い食品と一緒に使用すると作用が強くなり、炭酸飲料での服用が好ましい。
- c ケイヒやセンブリのような香りや苦味のある成分を含む健胃薬で散剤のものは、オブラートで包む等、味や香りを遮蔽する方法で服用されることが適切である。
- d 消化薬は、炭水化物、脂質、蛋白質等の分解に働く酵素を補う等により、胃や腸の内容物の消化を助けることを目的とする医薬品である。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	誤	誤	正

問74 腸の薬に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a アシドフィルス菌は、腸管内の異常発酵等によって生じた有害な物質を吸着させることを目的として用いられる。
- b 塩酸ロペラミドが配合された止瀉薬は、細菌感染による下痢の症状を鎮めることを目的として用いられる。
- c ダイオウは、センノシドを含み、大腸刺激性瀉下成分として用いられる。
- d プランタゴ・オバタ種皮が配合された膨潤性瀉下薬は、その効果を高めるため、使用と併せて十分な水分摂取がなされることが重要である。

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問75 浣腸薬に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 便秘の場合に排便を促すことを目的として、直腸内に適用される医薬品である。
- b 繰り返し使用すると直腸の感受性が高まり、効果が強くなることがある。
- c 浣腸薬の使用による直腸の急激な動きに刺激されて、流産・早産を誘発するおそれがある。
- d 便秘に伴って吐き気や嘔吐が現れた場合には、急性腹症の可能性があるので、速やかに使用することが望ましい。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	誤	誤	正

問76 生薬製剤に用いられるゴオウの素材（基原）はどれか。

- 1 ウシ科のウシの胆嚢中に生じた結石
- 2 ツリミミズ科のカッシュクツリミミズ
- 3 クマ科のヒグマの胆汁の乾燥物
- 4 シカ科のシベリアジカの雄の幼角

問77 高コレステロール改善薬に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 有効成分としてリノール酸を含む植物油、パンテチン等が用いられる。
- b 酪酸リボフラビンが配合されているものを服用した場合、一般に尿が赤色になる。
- c 大豆油不飽和化物(ソイステロール)が配合されているものを服用した場合、悪心(吐き気)、胃部不快感等の消化器系の副作用が現れることがある。
- d 食事療法、運動療法の補助的な位置づけで用いられる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	正	誤	正	正
4	誤	正	正	正

問78 貧血用薬(鉄製剤)に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 貧血用薬(鉄製剤)の服用により、便が黒くなることがある。
- b 貧血用薬(鉄製剤)の服用前後30分以内にビタミンCを摂取すると、消化管からの鉄の吸収が悪くなる。
- c 主な副作用として、悪心(吐き気)、胃部不快感等の胃腸障害が知られている。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正

問79 外用痔疾用薬に用いられる成分に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a アラントインは、痔疾患に伴う局所の感染を防止することを目的として用いられる。
- b 塩酸クロルヘキシジンは、痔に伴う痛み・痒みを和らげることを目的として用いられる。
- c 塩酸テトラヒドロゾリンは、血管収縮作用による止血効果を目的として用いられる。
- d ビタミンA油は、傷の治りを促す作用を目的として用いられる。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	誤	誤
4	誤	誤	正	正

問80 次の記述にあてはまる漢方処方製剤はどれか。

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴える人における、月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症、肩こり、めまい、頭重、打ち身（打撲症）、しもやけ、しみに適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）では不向きとされる。

- 1 桂枝茯苓丸
- 2 小青竜湯
- 3 半夏厚朴湯
- 4 防風通聖散

問81 鼻炎用内服薬に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a フマル酸クレマスチンは、肥満細胞から遊離したヒスタミンが受容体と反応するのを妨げて、ヒスタミンの働きを抑えることを目的として用いられる。
- b トラネキサム酸は、抗コリン作用により、鼻汁分泌やくしゃみを抑えることを目的として用いられる。
- c グリチルリチン酸二カリウムは、鼻粘膜の炎症を和らげることを目的として用いられる。
- d マレイン酸カルピノキサミンは、交感神経系を刺激して、鼻粘膜の充血や腫れを和らげることを目的として用いられる。

1 ( a、 b )      2 ( a、 c )      3 ( b、 d )      4 ( c、 d )

問82 塩酸ブソイドエフェドリンに関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 心臓病、高血圧等の診断を受けた人、前立腺肥大による排尿困難の症状がある人では、使用を避ける必要がある。
- b 医療機関でパーキンソン病の治療を受け、塩酸セレギリンが処方されている人では、使用を避ける必要がある。
- c 鶏卵によるアレルギー症状を起こしたことがある人では、使用を避ける必要がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問83 鼻炎用点鼻薬に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a クロモグリク酸ナトリウムは、アレルギー性でない鼻炎や副鼻腔炎<sup>くわう</sup>に対して有効である。
- b リドカインは、鼻粘膜の過敏性や痛みや痒み<sup>かゆ</sup>を抑えることを目的として配合されている。
- c 塩酸ナファゾリンを含む点鼻薬を過度に使用すると、鼻粘膜の血管が反応しなくなり、逆に血管が拡張して二次充血を招き、鼻づまり（鼻閉）がひどくなりやすい。
- d 塩酸フェニレフリンは、鼻粘膜を清潔に保ち、細菌による二次感染を防止することを目的として配合されている。

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問84 眼科用薬に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 人工涙液は、目の疲れや痒み<sup>かゆ</sup>、結膜充血等の症状を抑える成分が配合されている。
- b 一度に何滴も点眼しても効果が増すわけではなく、むしろ鼻粘膜や喉<sup>のど</sup>から吸収されて、副作用を起こしやすくなる。
- c 別の人を使用している点眼薬を共用することは避けることとされている。
- d 目のかすみ<sup>かすみ</sup>が緑内障による症状であった場合、一般用医薬品の点眼薬では効果が期待できないばかりでなく、配合成分によっては、緑内障の悪化につながる場合がある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	誤	正	正

問85 点眼薬に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a スルファメトキサゾールは、細菌感染による結膜炎等の化膿性の症状を改善することを目的として用いられる。
- b コンドロイチン硫酸ナトリウムは、結膜や角膜の乾燥を防ぐことを目的として用いられる。
- c メチル硫酸ネオスチグミンは、眼粘膜の蛋白質と結合して皮膜を形成し、外部の刺激から目を保護することを目的として用いられる。
- d リン酸水素ナトリウムは、炎症を生じた眼粘膜の組織修復を促すことを目的として用いられる。

1 ( a、 b )      2 ( a、 c )      3 ( b、 d )      4 ( c、 d )

問86 外皮用薬に用いられる成分に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 石鹼で洗浄した後に塩化ベンザルコニウムを使用する場合には、石鹼を十分に洗い流さないと、両者が混ざり、殺菌消毒効果が低下する。
- b オキシドールの作用は、過酸化水素の分解に伴って発生する活性酸素による殺菌効果、及び酸素の発生に伴う泡立ちによる物理的な洗浄効果である。
- c ヨウ素の殺菌力はアルカリ性になっても低下しないため、ヨードチンキを石鹼と一緒に使用することができる。
- d マーキュロクロムは、真菌、結核菌、ウイルスに対する殺菌消毒作用がある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	誤	誤	正

問87 外皮用薬に用いられる成分のうち、非ステロイド性抗炎症成分はどれか。

- 1 デキサメタゾン
- 2 酢酸プレドニゾロン
- 3 ヒドロコルチゾン
- 4 フェルビナク

問88 インドメタシンが配合されている外皮用薬に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 皮膚から浸透してプロスタグランジンの産生を抑える作用を示し、筋肉痛、関節痛、打撲、捻挫等に用いられる。
- b 貼付剤として使用される場合には、長期連用が可能である。
- c 殺菌作用があり、皮膚感染症に対して効果的である。
- d 喘息を起こしたことがある人では、使用を避ける必要がある。

- 1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問89 みずむし・たむし用薬に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 一般的に、じゅくじゅくと湿潤している患部には、液剤が適している。
- 2 爪に発生する白癬（爪白癬）は、抗真菌成分が配合された一般用医薬品の使用により自己治療が可能である。
- 3 2週間位使用しても症状が良くならない場合には、別のみずむし・たむし用薬に切り換えて使用することとされている。
- 4 塩酸アモロルフィン<sup>®</sup>は、皮膚糸状菌の細胞膜を構成する成分の産生を妨げることにより、その増殖を抑える。

問90 歯痛薬に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 フェノールは、齶蝕により露出した歯髄<sup>すい</sup>を通っている知覚神経の伝達を遮断して痛みを鎮めることを目的として用いられる。
- 2 カンフルは、冷感刺激を与えて知覚神経を麻痺<sup>ひ</sup>させることによる鎮痛・鎮痒<sup>よう</sup>の効果を期待して用いられる。
- 3 オイゲノールは、齶蝕<sup>う</sup>の修復を目的として用いられる。
- 4 アミノ安息香酸エチルは、齶蝕<sup>う</sup>を生じた部分における細菌の繁殖を抑えることを目的として用いられる。

問91 口内炎用薬に用いられる成分に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a グリチルレチン酸は、患部からの細菌感染を防止することを目的として用いられる。
- b アクリノールは、口腔粘膜の炎症を和らげることを目的として用いられる。
- c シコンは、組織修復促進、抗菌などの作用を期待して用いられる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問92 ニコチンを有効成分とする禁煙補助剤（咀嚼剤）に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 数分間噛んだ後、ティッシュ等に包んで捨てることとされている。
- 2 1度に2個以上の使用は避ける必要がある。
- 3 炭酸飲料など口腔内を酸性にする食品の摂取直後の使用は、ニコチンの吸収を高める。
- 4 6ヶ月以上使用を続ける必要がある。

問93 滋養強壯保健薬に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a ジオウ、カシュウについては、医薬部外品にも配合が認められている生薬成分である。
- b 神経痛、筋肉痛、しみ・そばかす等のような特定部位の症状に対する効能・効果は、医薬品においてのみ認められている。
- c 数種類の生薬をアルコールで抽出した薬用酒は、血行を促進させる作用があることから、手術や出産の直後等で出血しやすい人では使用を避ける必要がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

問94 次の記述にあてはまる漢方処方製剤はどれか。

元気がなく胃腸の働きが衰えて、疲れやすい人における、虚弱体質、疲労倦怠、病後の衰弱、食欲不振、寝汗の症状に適すとされる。

- 1 安中散 あんちゅうさん
- 2 麦門冬湯 ばくもんどうとう
- 3 補中益気湯 ほちゅうえききとう
- 4 八味地黄丸 はちみじおうがん

問95 滋養強壯保健薬に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a ビタミンDは、過剰に摂取しても過剰症を生じるおそれはない。
- b ビタミンEは、皮膚におけるメラニンの生成を抑え、排出を促す働きがある。
- c システインは、肝臓においてアルコールを分解する酵素の活性を高める働きがある。
- d グルクロノラクトンは、肝臓の働きを助け、肝血流を促進する働きがある。

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問96 次の記述にあてはまる漢方処方製剤はどれか。

色白で疲れやすく、汗をかきやすい傾向のある人における、肥満症（筋肉にしまりのない、いわゆる水ぶとり）、関節痛、むくみの症状に適すとされる。

- 1 防己黄耆湯 ぼういおうぎとう
- 2 黄連解毒湯 おうれんげどくとう
- 3 大黄甘草湯 だいおうかんそうとう
- 4 十全大補湯 じゅうぜんたいほとう

問97 生薬製剤に用いられるブシの素材（基原）はどれか。

- 1 マメ科のクズの根
- 2 セリ科のボウフウの根及び根茎
- 3 サルノコシカケ科のマツホドの菌核
- 4 キンポウゲ科のハナトリカブトの塊根

問98 消毒薬に用いられる成分に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 日本薬局方に収載されているクレゾール石鹼液は、原液を水で希釈せず直接皮膚に用いる。
- b エタノールは、結核菌を含む一般細菌類、真菌類に対して比較的広い殺菌消毒作用を示すが、ウイルスに対する殺菌消毒作用はない。
- c イソプロパノールは、脱脂による肌荒れを起こしやすく、皮膚へ繰り返して使用する場合には適さない。
- d サラシ粉は、皮膚刺激性が強いため、人体の消毒には用いられない。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	誤	誤
3	誤	誤	正	正
4	誤	誤	誤	正

問99 殺虫剤及び忌避剤に用いられる成分に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 フェノトリンの殺虫作用は、アセチルコリンを分解する酵素と不可逆的に結合してその働きを阻害することによる。
- 2 ペルメトリンは、シラミの駆除を目的として人体に直接適用される唯一の殺虫成分である。
- 3 ジクロルボスの殺虫作用は、神経細胞に直接作用して神経伝達を阻害することによる。
- 4 ディートを含有する忌避剤（医薬品及び医薬部外品）は、生後6ヶ月未満の乳児への使用を避けることとされている。

問100 一般用検査薬を用いた尿糖・尿蛋白検査に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 出始めの尿を採取して検査がなされることが望ましい。
- 2 尿蛋白の場合、原則として食後（1～2時間）の尿を検体とする。
- 3 尿糖又は尿蛋白を検出する部分を直接手で触れると、正確な検査結果が得られなくなることがある。
- 4 尿糖・尿蛋白検査薬は、その結果をもって直ちに疾患の有無や種類を断定することができる。

## 医薬品の適正使用と安全対策

問101 一般用医薬品の添付文書に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 重要な内容が変更された場合には、改訂年月を記載するとともに改訂された箇所を明示することとされている。
- b 「使用にあたって、この説明文書を必ず読むこと。また、必要なときに読めるよう大切に保存すること。」等の文言が記載されている。
- c 「用法及び用量」は、年齢区分、1回用量、1日の使用回数等について、一般の生活者に分かりやすく、表形式で示されるなど工夫して記載されている。
- d 小児に使用される医薬品において、「服用時は飲酒しないこと」等小児では通常当てはまらない内容は、記載されることはない。




	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	正	正	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	正

問102 一般用医薬品の添付文書に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 「効能または効果」は、「適応症」として記載されている場合がある。
- b 「使用上の注意」は、「製品の特徴」と「保管及び取扱い上の注意」の二つから構成される。
- c その医薬品の薬理作用等から予想される身体への影響であって、容認される軽微なものについては、「次の症状が現れることがある」として記載されている。
- d 医薬品の添加物として配合されている成分の物質名は、すべて記載されている。

1 ( a , b )      2 ( a , c )      3 ( b , d )      4 ( c , d )

問103 一般用医薬品の添付文書に記載されている標識的マークの使い方として、正しいものはどれか。

- 1  **相談すること**
- 2  **してはいけないこと**
- 3  **相談すること**
- 4  **してはいけないこと**

問104 次は、一般用医薬品の添付文書の副作用の記載に関する記述である。  、  にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

副作用については、 )まず  副作用について発現部位別に症状を記載し、そのあとに続けて、 )まれに発生する  副作用について副作用名ごとに症状を記載することとされている。

	a	b
1	一般的な	重篤な
2	一般的な	軽度な
3	全身的な	重篤な
4	全身的な	軽度な

問105 次の成分のうち、それを含有する医薬品の添付文書等の「次の人は服用しないこと」の項目の中に、「牛乳によるアレルギー症状を起こしたことがある人」と記載されている必要があるものはどれか。

- 1 塩化ベルベリン
- 2 塩化カルニチン
- 3 タンニン酸アルブミン
- 4 タンニン酸ベルベリン

問106 次の成分のうち、それを含有する医薬品の添付文書等に、「服用後、乗物または機械類の運転操作をしないこと」と記載されている必要があるものはどれか。

- 1 マレイン酸クロルフェニラミン
- 2 リン酸ピリドキサル
- 3 コハク酸トコフェロール
- 4 フマル酸第一鉄

問107 次の成分のうち、メトヘモグロビン血症を起こすおそれがあるため、6歳未満の小児が服用を避ける必要があるものはどれか。

- 1 アセトアミノフェン
- 2 アミノ安息香酸エチル
- 3 アミノエチルスルホン酸
- 4 安息香酸ナトリウムカフェイン

問108 次の成分のうち、それを含有する医薬品の添付文書等の「次の人は服用しないこと」の項目の中に、「透析療法を受けている人」と記載されている必要があるものの組合せはどれか。

- a 次硝酸ビスマス
- b オキセサゼイン
- c アルジオキサ
- d スクラルファート

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問109 次は、医薬品の販売等に従事する専門家と購入者との会話である。購入者からの相談に対する専門家の対応の正誤について、正しい組合せはどれか。

a	購入者	「妊娠中ですが、アレルギー性鼻炎で困っています。点鼻薬なら安心して使用できますか。」
	専門家	「点鼻薬は局所に適用するため、安心して使用してください。」

b	購入者	「小児の用法・用量の記載がない大人用の薬を半分にして子供に服用させてもよいですか。」
	専門家	「小児の用法・用量のない大人用の薬は、量を少なくしても小児に服用させることは避けてください。小児の用法・用量のある薬を使用してください。」

c	購入者	「この120錠入りの薬を勤め先に置いておくために、60錠ずつ小瓶に移し替えてもよいですか。」
	専門家	「医薬品を別の容器へ移し替えると、日時が経過して中身がどんな医薬品であったか分からなくなってしまうことがあり、誤用の原因となるのでやめてください。また、適切な品質が保持できなくなるおそれがありますので、移し替えしないでください。」

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

問110 一般用医薬品に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 錠剤、カプセル剤、散剤を冷蔵庫内に保管することは、取り出したときに室温との急な温度差で湿気を帯びるおそれがあるため不適當である。
- b 1回服用量中のアルコール含有量が1.0ml未満の内服液剤については、アルコールを含有する旨及びその分量を記載する必要はない。
- c 適切な保存条件の下で製造後1年を超えて性状及び品質が安定であることが確認されている医薬品においては、使用期限の表示について法的な義務はない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正

問111 緊急安全性情報に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 厚生労働省が作成し、医薬関係者に対して直接配布する。
- b ドクターレターとも呼ばれる。
- c A4サイズの黄色地の印刷物である。
- d 一般用医薬品に係る緊急安全性情報が発出されたことはない。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	正
4	誤	正	正	誤

問112 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下「総合機構」という。）の「医薬品医療機器情報提供ホームページ」に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a ホームページに掲載されている医薬品の添付文書に関する情報を閲覧することができるのは、医薬関係者に限定されている。
- b 厚生労働省から発行される「医薬品・医療機器等安全性情報」が掲載されている。
- c 企業や医療機関等から報告された、医薬品による副作用が疑われる症例情報が掲載されている。
- d 総合機構では、医薬品・医療機器の安全性に関する情報について、ホームページへの掲載のほか、電子メールによる配信サービスも行っている。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	正	正
4	誤	誤	正	誤

問113 登録販売者に対して薬事法で義務づけられている副作用等の報告の対象に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 医薬品の過量使用や誤用等によるものと思われる健康被害については、報告の対象となっていない。
- b 医薬品との因果関係が必ずしも明確でない場合、報告の対象となっていない。
- c 報告すべき医薬品の副作用は、使用上の注意に記載されているものだけとは限らない。
- d 健康被害を生じた本人から直接その状況を把握できない場合は、報告の対象とはならない。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	正	正	正
4	誤	誤	正	誤

問114 登録販売者に対して薬事法で義務づけられている副作用等の報告に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 報告様式は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の「医薬品医療機器情報提供ホームページ」から入手できる。
- b 報告様式の記入欄すべてに記入する必要がある。
- c 報告者に対しては、安全性情報受領確認書が交付される。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問115 医薬品副作用被害救済制度に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による被害者の迅速な救済を図ることを目的とする。
- b 製薬企業の社会的責任に基づく公的制度として運用が開始された。
- c 救済給付の請求先機関は、厚生労働省である。
- d 救済給付業務に必要な費用のうち給付費については、医療機関から年度ごとに納付される拠出金が充てられる。

1 ( a、 b )      2 ( a、 d )      3 ( b、 c )      4 ( c、 d )

問116 医薬品副作用被害救済制度に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 救済給付の対象となる健康被害の程度としては、副作用により入院を必要とする程度の医療を受ける場合等である。
- b 一般用医薬品の殺虫剤・殺鼠<sup>そ</sup>剤、人体に直接使用されない殺菌消毒剤も、救済制度の対象となる。
- c 個人輸入により入手された医薬品の使用による健康被害については、救済制度の対象から除外されている。
- d 救済給付の請求にあたっては、医薬品を販売等した薬局開設者、医薬品の販売業者の作成した給付の請求書が必要となる。

1 ( a、 b )

2 ( a、 c )

3 ( b、 d )

4 ( c、 d )

問117 次の記述にあてはまる医薬品副作用被害救済制度の救済給付の種類はどれか。

医薬品の副作用により一定程度の障害の状態にある18歳以上の人の生活補償等を目的として給付されるもの(定額)

- 1 医療費
- 2 医療手当
- 3 障害年金
- 4 障害児養育年金

問118 医薬品PLセンターに関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 医薬品副作用被害救済制度の対象となるケースに限って、苦情申立てを受け付けている。
- b 医薬部外品に関する苦情申立ては受け付けていない。
- c 苦情申立てをした消費者が製造販売元の企業と交渉するに当たって、裁判によらずに迅速な解決に導くことを目的としている。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

問119 次は、一般用医薬品の安全対策に関する記述である。  、  にあてはまる字句として、正しい組合せはどれか。

2003年5月までに、一般用かぜ薬の使用によると疑われる  の発生事例が、計26例報告された。厚生労働省では、同年6月、一般用かぜ薬全般につき使用上の注意の改訂を指示することとした。

それ以前も一般用かぜ薬の使用上の注意において、「  回服用しても症状が良ならない場合には服用を中止して、専門家に相談する」等の注意がなされていたが、それらの注意に加えて、「まれに  の重篤な症状が起きることがあり、その症状は、かぜの諸症状と区別が難しいため、症状が悪化した場合には服用を中止して医師の診療を受ける」旨の注意喚起がなされることとなった。

	a	b
1	髄膜炎	2～3
2	髄膜炎	5～6
3	間質性肺炎	2～3
4	間質性肺炎	5～6

問120 医薬品の適正使用のための啓発活動及び薬物乱用防止に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 医薬品の適正使用の重要性等に関して、小中学生のうちから啓発を行うことが重要である。
- b 毎年10月17日～23日の1週間を「薬と健康の週間」として、国、自治体、関係団体等による広報活動やイベント等が実施されている。
- c 薬物乱用とは、麻薬、覚せい剤、大麻等の薬物を不正に使用することであり、一般用医薬品が用いられることはない。
- d 違法な薬物の乱用は、社会的な弊害を生じるおそれはなく、乱用者自身の健康上の問題である。

1 ( a、 b )

2 ( a、 d )

3 ( b、 c )

4 ( c、 d )